

2002年

東大数学

文系第1問

2式を連立して、 $y$ を消去すると、

$$2\sqrt{3}(x - \cos\theta)^2 + \sin\theta = -2\sqrt{3}(x + \cos\theta)^2 - \sin\theta$$

$$2\sqrt{3}(x^2 - 2\cos\theta x + \cos^2\theta) + \sin\theta = -2\sqrt{3}(x^2 + 2\cos\theta x + \cos^2\theta) - \sin\theta$$

$$4\sqrt{3}x^2 + 4\sqrt{3}\cos^2\theta + 2\sin\theta = 0$$

$x$ の2次方程式の判別式を $D$ とすると、 $D > 0$  とはわかれぬ。

$$D = 0^2 - 4 \times 4\sqrt{3} (4\sqrt{3}\cos^2\theta + 2\sin\theta) > 0$$

$$4\sqrt{3}\cos^2\theta + 2\sin\theta < 0$$

$$4\sqrt{3}(1 - \sin^2\theta) + 2\sin\theta < 0$$

$$2\sqrt{3}\sin^2\theta - \sin\theta - 2\sqrt{3} > 0$$

$$(2\sin\theta + \sqrt{3})(\sqrt{3}\sin\theta - 2) > 0$$

1.  $\sqrt{3}\sin\theta - 2 > 0$

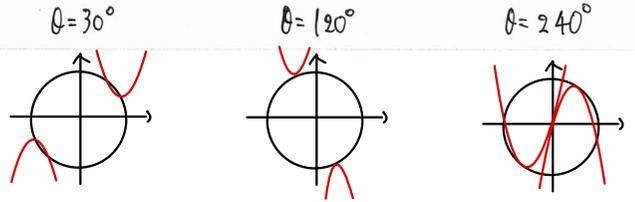
$\sqrt{3}\sin\theta - 2$  は常に負なので、

$$2\sin\theta + \sqrt{3} < 0 \quad \sin\theta < -\frac{\sqrt{3}}{2}$$

よって、 $240^\circ < \theta < 300^\circ$

(補) 2つの放物線は合同、

頂点は  $(\cos\theta, \sin\theta)$  と  $(-\cos\theta, -\sin\theta)$  となる。  
原点対称である。



$\theta = 30^\circ$   
交わらない。

$\theta = 120^\circ$   
交わらない。

$\theta = 240^\circ$   
原点で接する。

$\theta$  が小さくと、交わらない

$\theta = 240^\circ$  で、原点で接する。